



=====弓道部・陸上競技部インターハイ出場=====

弓道部は、7月31日(火)～8月5日(日)まで静岡県袋井市で、陸上競技部は、8月2日(木)～6日(月)まで三重県伊勢市で開催されたインターハイに参加しました。弓道部は男子団体戦で予選を突破し決勝トーナメント進出を果たしました。全国大会で勝利を経験できたことは、最高の思い出であり、自信となりました。応援していただいた皆様ありがとうございました。

=====防災ワークショップを開催=====

8月20日(月)に本校を会場に、宮城県農業高等学校と合同で大雨・洪水に対応する防災ワークショップを開催し、非常時の避難について考えを深めました。本校における開催は今年で3回目となりますが、名取市の地図を利用してよりリアルに、イメージしやすいワークショップとなりました。参加いただいた皆様、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



防災ワークショップを体験して

小関嵩士 (1年・玉浦中出身)

今回、防災ワークショップに参加して、初めて大雨に関する防災について学び考えを深めることができました。名取市の地図をもとに、大雨・洪水の発生を想定し、避難するタイミングと避難行動についてグループ内で意見を出し合いました。命を守ることを最優先として、判断力、決断力、行動力の大切さを強く意識しました。また、災害は「まさか」ではなく「いつか」ということも認識しました。これまでに防災学習で学んできた地震と津波、今回学んだ大雨・洪水に対する防災知識を「いつか」に役立て、命を守るよう心がけたいと思います。このような機会を与えていただいたことに感謝いたします。



=====東北総体(国体ブロック予選)出場=====

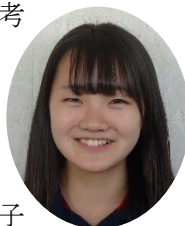
8月25日(土)～26日(日)に東北総体が宮城県内各所を会場に開催されます。本校からも陸上競技男子 5000mに**大内奎吾**さん(3年・村田二中出身)と弓道女子に**桃井翔菜**さん(3年・大河原中出身)の2名が宮城県の代表として選抜されています。

東北総体出場への抱負

桃井翔菜 (3年・大河原中出身)

6月16日(土)に行われた最終選考会で東北総体の選手に決定しました。

昨年はあと一步のところで悔しい思いをしましたが、今年は出場することができました。また、今年の全国高校総体では弓道部男子が大活躍でした。女子も東北総体に出場できてうれしく思います。夏休みに強化練習・合宿に参加し、気力・体力・集中力を向上させてきました。国体(福井大会)への出場権を獲得できるよう、一本一本を大切に射ることだけに集中し、ここまで応援してくださった顧問の清水先生や家族への感謝を胸に充実した大会にしたいと思います。



=====日本・ベラルーシ友好派遣団2018に参加=====

7月23日(月)～8月5日(日)、両国の関係を深め、互いの文化や国を理解し、次世代の国際リーダーの育成を目的に、本校生徒9名(県内42名参加)と教諭1名がベラルーシへ派遣されました。



一步前に踏み出した経験を通して

高橋夏希 (2年・白石東中出身)

ベラルーシ友好派遣団に参加して最初の宿泊地、ズブリョーノクで、ベラルーシの皆さんにとっても明るく元気に迎えていただき、歓迎会や交流会を楽しく過ごすことができました。緊張していた私たちは、すぐに打ち解けると同時に、積極的に会話をすることを心がけるようにしました。また、7月29日(日)に行うプレゼンの準備として、通訳の方に個別の英語レッスンをしていただき、「日本について」と「復興へ



ナロチ湖での本校生徒

の様々な取り組みについて」英語で発表しました。英語を使って発表できる楽しさと嬉しさを身をもって体験し、積極的に行動できるようになりました。このような機会を与えていただいた皆様に感謝申し上げます。

=====職員研修(特別支援教育)を開催=====

7月30日(月)本校で「小中高をつなぐ特別支援教育」をテーマに小中高での実践的な取り組みを通して、特別な支援を必要とする児童生徒の理解と教育的支援の在り方について研修会を開催しました。増田小



研修会での発表の様子

学校の**菅野清栄**先生と増田中学校の**宮本静子**先生から、小中学校のきめ細やかな取り組みについて発表いただいた後、高校からは**佐藤祥**主幹教諭が本校の取り組みについて発表しました。最後に仙台市南部発達相談支援センター所長の**薦森武夫**様から指導助



薦森所長の講話

言をいただくとともに、「小中高をつなぐ特別支援教育」の必要性和重要性について講話をいただきました。当日は、定時制課程や通信制課程の学校から参加いただき、それぞれの校種間でこれまで疑問に

感じていたことや、連携の重要性について話題となり有意義な研修会となりました。お忙しい中、ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

七月に行われた教育実習の巡回指導で本校においていただいた仙台大学の江尻雅彦先生にインタビューしました。江尻先生は、福島県いわき市出身で、昨年度まで福島県立新地高等学校の校長先生として勤務され、被災地にある高校の連携に力を注がれていました。今年度から母校である仙台大学に教員養成課程の講義と硬式野球部の部長として勤務されています。

仙台大学教授 江尻 雅彦 様



Q 野球部監督としての思い出は？

A 湯本高校に勤務していたときには監督として何回も県大会の決勝に駒を進めました。あと一歩で甲子園出場をのがしました。

Q 大学ではどのような科目を担当されていますか？

A 生徒指導論という授業を担当しています。生徒指導とは何なのかを理論的に学ぶ講義ですが、これまで現場で養ってきた様々な事例を織り交ぜながら授業を展開できるところが強みです。九十分の授業で、後半二十分は演習として事例検討をします。学生が教員として採用されたときに、心を込めて、粘り強く、臨機応変な対応ができる人材になってもえればと思っています。

Q 仙台大学の魅力は？

A 東北・北海道唯一の体育大学として設備・教授陣が充実しています。また、今の社会では、豊富な情報を活用することが求められます。そのため、収集した情報を活用し、一人一人の学生に様々なことを体験・経験させるようにしています。例えば、「仙台大塾」と称して地域の小学生を集めて、大学生に勉強を教えさせ、細かいところを教授陣が学生を指導するという取り組みをしています。教育実習とは違った体験活動をする中で、学生の経験値を向上させることができます。ほかにもボランティアを積極的に体験させる取り組みをしています。

Q 今、高校生に求められていることは？

A 情報が瞬時に入ってくる中で、その情報が必要なのか、正しいのか、情報を整理する力が求められます。情報を取り入れ分析する力は常に、様々な人とコミュニケーションをとることによって培われます。情報を知識として身につけて活用する実践力が必要だと考えます。意欲を持たせるために、学生によく話すことですが、成功するためにはチャレンジを通して学ぶことです。高校生のうちにたくさん成功や失敗を経験して次に向けて一歩踏み出す力を身につけてほしいと思います。

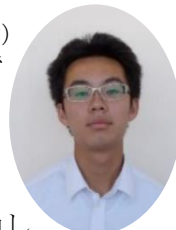
Q 北校生にメッセージをお願いします。

A 学校を訪問した際に、制服姿や授業風景から先生と生徒の良好な関係が見えました。また、高校に入学した目的を達成しようとする気持ちが見て取れ、大変素晴らしい生徒さんだと感じました。色々な体験・経験ができる学校と聞いておりますので、高校生活を充実させてください。

＝家庭科「子どもの発達と保育」の授業から＝ ＝保育所実習に参加して＝

丹野良一（2年・大河原中出身）

7月25日（水）に増田保育所で保育実習をさせていただきました。私は、4歳児のクラスに配属されました。子どもたちはとても活発で初めて会う私にも、とびきりの笑顔を見せてくれました。実習を通して感じたことは、保育士の先生方がパワフルであるということです。子どもたちは無邪気で、好奇心にあふれています。一人一人が別々の行動を取り、それをまとめるために、声の大きさを使い分け、子どもたちを引きつける話し方を心がけていました。また、仲間から離れている子どもがいれば、皆の輪に戻す等、常に目配り気配りをして仕事をしています。日頃、小さい子どもとふれあう機会がない私にはとてもよい経験となりました。



＝＝＝＝＝オープンキャンパス開催＝＝＝＝＝

7月27日（金）に中学3年生を対象にオープンキャンパスを開催し1,100人が来校しました。皆様が本校の仲間になることを心よりお待ちしております。来校いただきました皆様ありがとうございました。



＝＝＝＝＝アクティブセミナーを開催＝＝＝＝＝

7月18日（水）に1・2年生を対象にアクティブセミナーを開催しました。県内外多方面の社会人・大学生を講師とする47講座から3つの講座を選択し、実社会での社会人や学生の生き方・在り方に触れ、今後の生き方・進路目標について考えました。



また、講師の先生方と本校教職員との間で行われた事後懇談会においては、本校生について、まじめにコツコツと取り組む今後の成長が楽しみな生徒であると講師の方々から感想をいただきました。

＝＝＝＝＝同窓会総会が開催されました＝＝＝＝＝

8月11日（土）ホテル JAL シティ仙台を会場に本校同窓会総会が開催されました。同窓会長の郷内知明様から「母校の40周年記念事業に協力していきましょう」という挨拶に続き、11月2日（金）に予定されている創立40周年記念式典・記念講演について検討されました。また、



特に1回生からは40年前の当時の学校の様子などが話され、40年の歴史の重さを感じられました。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。

